



TITLE:

同好會報

AUTHOR(S):

CITATION:

同好會報. 天界 1921, 1(12): 252-252

ISSUE DATE:

1921-10-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/159625>

RIGHT:

同好會報

●大阪支部の活動 同好會大阪支部は位置を小國民新聞社内に於いて、毎月支部會報なるものを發行し、毎號、種々の報告に兼ねて、趣味ある記事を載せてゐる。其の八月號を他の支部の參考のため、こゝに寫し出した。

同支部には十月八日夜、市民館で例會を開き、山本助教授と百濟理學士との地球の引力に關する講話があつた。尙又十月十五日から三日間、船場小學校で天文講習會を開いた(講師は山本助教授)

●岡山支部九月通信 (水野)

一、天界研究會第九回 第二土曜日即ち十日午後七時から例によつて宮原幹事宅で開會、雜誌の研究について、新著英文天文書二、三について相互に批評をした。

二、十二時反射望遠鏡 天文月報八月號で、岡山縣吉備郡新本村ドクトル橋本修吾氏が手製十二時反射望遠鏡を所有して居らるゝ旨を知つたので、早速照會した處同望遠鏡は天文用のみでなく、醫療用に使用の目的であるが同好者の便宜を計るゝの吉報に接した事は實に嬉しい。無論同氏は入會を快諾された。

天文同好會大阪支部會報

七夕の星

幹事 宮森作造

夏になると七夕の星がよく見えるやうになつて來ます。涼しい

夏の夕べ澄み切つた空を仰ぐ時には何んともいひ知れぬ感に打たれます。七夕の星といふのは

彦星(牽牛星)と織姫(織女星)とのことで七八月頃の宵、八九時には頭上より少し東の空にあつて、天の川の兩岸でキラ／＼

光つてゐる大きな星でありますこの頃の宵八九時頃に北から少し東の方を見ますと、カシオ

ペイアといつて星がM字形にならんでゐる星座が見えます。その少し上の方にケフエウスといつて菱形に星のならんだ星座があり、その又上の方即ち頭上より少し東北の方には白鳥といつ

て、首の長い鳥が翼をひろげて南の方へ飛んでゐるやうに見える星座があります。この白鳥の頭の前の銀河の兩岸を斜に見ると牽牛と織女とがよく輝いてゐます。直ぐに見出すことが出来ます。

そこで今月の例會は、少國民新聞社并に大阪市民館の御厚意によつて左の通り市民館の樓上

で開くことになりましたから、是非御繰合せの上御家族及び御友人を御誘ひ合されて御出席下さるやうお勧めいたします。

支部の移轉

天文同好會大阪支部は、これまで大阪市民博物館に置いておりましたが、今度都合により左に移轉することになりましたから、御通知いたします。

大阪市西區京町堀通一丁目

小國民新聞社内

天文同好會大阪支部

電話(二五二三)
土佐堀(三〇五〇)

天文同好會 八月例會

日 時 八月六日(土)午後七時より
場 所 大阪市民館(北區天神橋六丁目)

天文講演會(五階バルコニーで幻燈并に星座の説明)

講師 同好會幹事 宮森作造氏
同好會上 古賀和吉氏

注意 御來會の方はなるべく靴又は草履ばきでお出で下さるやう願ひます。